

Title	昭和五十四年度三田史学会大会；昭和五十四年三月慶應義塾大学卒業論文・修士論文題目
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1980
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.49, No.4 (1980. 3) ,p.171(449)- 173(451)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19800300-0171

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

彙報

昭和五十四年度三田史学会大会

昭和五十四年度の三田史学会大会は、昭和五十四年十一月十日（土）、慶応義塾大学三田校舎において国史・東洋史・西洋史の三部会で左の如く計一四名の研究発表があり、ついで東京大学名誉教授三上次男氏の公開講演が行われた。

研究発表表

国史部会 五一五番教室

- 1 六―七世紀における開拓と共同体
―常陸国風土記の開拓説話に関する基礎的考察―
慶応義塾大学（大学院修士課程） 山本 行彦氏
- 2 資財帳についての一考察
慶応義塾大学（大学院修士課程） 松田 和晃氏
- 3 常陸平氏の成立
慶応義塾大学（大学院博士課程） 糸賀 茂男氏
- 4 公儀と改元―近世中期を主として―
慶応義塾志木高等学校 山田 忠雄氏

東洋史部会 五一三番教室

- 1 韓国南部海岸一帯の後期新石器文化の様相について
(スライド使用)

慶応義塾大学（大学院修士課程） 中山 清隆氏

2 宋代保甲制の二、三の問題 慶応義塾大学 長谷川誠夫氏

3 ベンガルにおけるスワデシ運動 拓殖大学 臼田 雅之氏

4 イスラムの高等教育―マドラサの発展―
慶応義塾大学 湯川 武氏

西洋史部会 五二八番教室

1 Easty 時代のカンタベリー司教座聖堂付属修道院の
所領経営について
慶応義塾大学（大学院修士課程） 大久保紀子氏

2 ドイツ国家人民党におけるいわゆる人民保守派について
慶応義塾大学（大学院修士課程） 大嶽 卓弘氏

3 マックス・ヴェーバー『都市』論のパスペクティヴ
―ヴェーバー歴史社会学研究序説―
慶応義塾大学（大学院修士課程） 裏田 道夫氏

4 ヨーシフ・ヴォロツキーの修道院会則
慶応義塾大学（大学院博士課程） 田辺三千広氏

5 後期ローマ帝国における都市アンティオキアについて
新潟大学 吉田 興宣氏

6 ミトラス教と豊饒崇拜
慶応義塾大学 小川 英雄氏

公開講演 西校舎五一七番教室

陶磁器貿易を通じてみた日中文化の交流(スライド使用)

東京大学名誉教授 三上 次男氏

昭和五十四年三月慶応義塾大学卒業論文・

修士論文題目

国史専攻卒業論文

- 高田 満彦 大津宮の研究
伊庭 雅人 中臣・藤原氏の宗教——興福寺建立まで——
三宅 俊江 受領について
吉田真理子 御霊信仰と仏教
——貞観五年の御霊会を中心として——
豊隅 豊 町衆の成立と東山文化
神竹 啓介 飛鳥寺——その文化史上の位置——
小川 京子 古代の婚姻制度について
坂井 佳子 わび茶の形成過程
成田 容子 能の成立と世阿弥
齊藤美佐子 天平期の彫刻
内田 勝久 古代天皇制に関する一考察
山本 和子 大化前代の首長制の生産関係
市嶋 文裕 律令制度における薄葬思想と薄葬令
小山 麻子 日本古代における馬飼の変遷
長谷山 彰 常陸鹿島と中臣氏
渡辺 進 藤原不比等について
小沢 直美 長屋王について
矢島 孝子 藤原仲麻呂について
落合恵津子 孝謙・称徳女帝について
小山由美子 空海について
浜田 祐次 藤原道長について
坂田 博子 受領の台頭について
竹中 一男 中世寺院内集会和僧团组织
辻 多佳子 総官職総下司職設置にみる平氏政権の一側面
三登 宏雄 中世後期の反権力闘争の検討
小松田みどり 平安時代の年中行事について
田口 俊夫 中世移行期における私領と公領
藤田 英幸 貨幣流通の拡大過程について
鵜沢 夏美 平安時代の家族像
森 祐子 平安末期における三浦氏と源氏の関係
松島 京子 平将門の乱
小浜 美子 コンフリアとキリシタンの信仰生活
本間登史郎 武士道における死生観に関する一考察
大岡 里江 近世女性の一考察
——三井珠法・寿讃を中心として——
田中 宏明 近世初期の小農自立化について
高畑 晋 幕藩制下の都市下層民と反対派の成立
荒木 亮 江戸遊廓に関する一考察
川村 尚志 寛文蝦夷の乱
高安 克子 海保青陵の眼で見た商人の社会的地位
尾高チハル 江戸時代における大名貸
松井 徳子 享保期以降の商家奉公人制度と商家経営の形態

升田 晋造 東洋的学風——河井継之助を中心として——
潮村 真紀 長州藩に於ける沿海村落の性格

——特に長門北浦沿岸を中心に——

村重 裕子 伊達宗城の思想と行動

——幕末安政期の宇和島藩軍制改革を中心に——

高輪 真澄 幕府外人顧問「タウンSEND・ハリス」

——英米公使の主導権争い——

石川 玲子 横浜居留地をめぐる外交問題について

山形 淳二 吉田松陰——対幕論の変遷——

桂木ひろ子 長野主膳について——安政五・六年を中心に——

三木 弘子 生野の変について

中川 由美 幕臣小栗上野介について

六本木雅一 幕末に於ける政権構想の変化

浅野 長孝 芸州藩に於ける大政奉還建白運動

塩田 進 慶応四年における下野の百姓一揆

佐竹登茂子 榎本武揚の蝦夷政権計画の消長

国史専攻修士論文

高木 不二 横井小楠における政権構想の展開——公武合体論よ

り公議政体論へ——

東洋史専攻および西洋史専攻の卒業論文・修士論文題目は、既刊の「史学」第四十九卷第二・三号の彙報欄に掲載してあります。